



平成 23 年度スタートにあたって ～正しく、楽しく、積極的に仲間づくりを進めよう～



この夏の猛暑もようやく終わり、一気に秋の気配を感じさせる季節となって参りました。会員の皆様にはお変わりなく益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。

前年度は当会の活動に格段のご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、9月1日より平成23年度がスタート致しました。去る9月16日にはホテルニューオウミにおいて厳粛な中、辞令交付式が執り行われ、役職者の皆様はその使命と決意に身の引き締まる思いで辞令を拝受されたことと思います。

過日、丸山敏秋理事長からは「日本は壊れかけている」とのお話がありました。

今まさに、政治も経済も社会も自然も、ましてや人心も一体どうなってしまったのか、動物にも劣るような痛ましい事件が多発し、我が国の未来はどうなるのか、憂えるのは私だけではないと思います。

今一度、健全な精神性と正しい道義を確立させるため、多くの人々にこの純粋倫理をお伝えすることが私達に課せられた使命ではないかと信じます。

当会において今年度は「正しく学び、正しく実践・実証して、楽しく積極的に仲間づくりを進めよう」を合言葉に取り組んで参りたいと思っています。

私も会長職最終年を迎え、今年度こそ普及目標 551 社達成を念願して全力で取り組む所存です。皆様の尚一層のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

滋賀県倫理法人会 会長 中村 治雄

11月26日(金) ホテルサンルート彦根にて

彦根市倫理法人会 10周年記念式典

100社達成で資格復帰を果たしての周年行事を予定

大津倫理法人会 新会長 青山 三四郎 平成23年度会長を拝命にあたり就任のあいさつ

拝啓 残暑が過ぎ秋本番とは言うものの、異常気象の影響が明ですが、昨今に例を見ない厳しい暑さが続き、会員各位におかれましては健康管理には十分ご留意され、企業経営活動に努力されておられることに対し、嬉しく思っております。

さて平成22年8月末日をもって大津倫理法人会の会長を辞されました、細川源太郎氏の功績をたたえとともに、二年間組織の維持発展、年間事業の確実な推進を実行され、その活躍たるや素晴らしく、大津倫理法人会発展に大きく寄与されましたことに敬意を表する次第です。

どうか不



本年は大津倫理法人会開設11年目、会員企業拡大に向け大きく前進すべき年度を迎え、今期目標100社を達成するため、以下5点の重点目標をかかげます。

- ① 目標達成のため、原点にかえります。
 - ・ 「職場の教養」の活用と頒布活動
 - ・ 「万人幸福の掬」の理解と活用
- ② 記念行事の開催の予定
- ③ 会員法人への訪問と会員外法人への訪問
- ④ 会員はもちろん、会員外法人のモーニングセミナーへの参加を募る
- ⑤ 会員清掃ボランティアの定期的推進を図る

等、計画を実施し、組織活性化に向け、あたりまえのことをあたりまえにできるよう、努力致したいと存じますので、会員各位のご協力・ご尽力を賜り、大津倫理法人会がさらに発展しますよう伏してお願い申し上げますとともに、一致団結し、全員参加で目標達成出来ますよう努力することをお誓いし、就任のごあいさつとさせていただきます。 敬白



びわこ湖東倫理法人会 新会長 蔭山 孝男 平成23年度会長を拝命にあたり就任のあいさつ

企業に倫理と理念の共有を

今年度滋賀県びわこ湖東倫理法人会の会長に就任しました。倫理法人会の会員としての歴史は10年余りですが、今までその他の団体の役員を兼務しており欠席がちでありましたことを反省しております。わが社も10年前に企業の理念を作成し、社員への浸透を図っておりますが、社員数も多くなかなか浸透しません。まず何よりも実行と実践からと思い、私自身から倫理法人会の実践哲学を実行して社員にお手本を見せることが大事と思っております。私は常に言っておりますが、企業理念の前にまず倫理ありと。

倫理がまず企業経営の土台でもあります。さらに経営者自らは倫理を実践して地域に貢献できる経営をしなければなりません。世の中の多くの経営者はまだ現実主義や儲け主義に走っております。企業ですから当然ながら利益の追求は必要です。しかし混沌とした日本の経済環境の下では仕方ないといわれる経営者も多く見かけます。私たちが住んでいる近くの地域からこのような経営者に倫理実践を薦め一人でも多くの経営者が倫理と理念を共有できる経営者になって欲しいものです。そのために出来る限り多くの経営者の仲間づくりを目指しましょう。

平成23年度滋賀県倫理法人会役員辞令交付式に参加して



9月16日（木曜日）、ホテルニューオウミにおいて、平成23年度滋賀県倫理法人会役員辞令交付式が開催されました。本年度、びわこ湖南倫理法人会の幹事を拝命し初めて式典に参加させていただきました。

式は開式の辞とともに始まり、国歌斉唱と続くといやがおうにも厳粛な気持ちで一杯となります。そして県役員・法人レクチャー・各単会役員の辞令が交付されていきます。一人ひとりの名前が呼ばれ壇上で辞令を渡される時、役員としての責任を重要性を改めて感じ身が引き締まったことは確かです。その後、辞令を受け取った役員を代表し6名が決意表明をされたのですが、皆さん力強く今期の倫理法人会の活動目標を宣言されたことに、また心打たれました。



滋賀県倫理法人会

自分は、今回初めて役員に任ぜられたのですが、倫理法人会の活動にもほんの数ヶ月前から参加させてもらっているくらいで、まだまだ分からないことばかりです。しかし、今回辞令交付式に参加させていただいて、このように経営者の皆さんが自分の本業とは別に情熱を傾けられる倫理法人会の活動の凄さの一端を知ることが出来たのは大変良かったとおもいます。

今期は諸先輩方の後を遅れない様についていくのがやっとなかかもしれませんが、びわこ湖南倫理法人会の幹事として深く勉強していき会員の皆さまや、これから会員になってくださる方に少しでもお役立ちできるよう頑張っていこうと決意を新たにさせていただきました。ありがとうございました。

びわこ湖南倫理法人会 幹事 村瀬 裕寿



平成23年度 倫理法人会スローガン



辞令を交付された役員のみなさん



大津倫理法人会



びわこ湖南倫理法人会



びわこ湖北倫理法人会



彦根市倫理法人会



びわこ湖東倫理法人会



法人レクチャー

女性倫理セミナーに参加して

平成22年7月7日

会場 ブルーベリーフィールズ紀伊国屋



今回のセミナーは急遽予定を返上して出かけることになりました。

道中、不慣れな道を期待と不安が交差する中、急な坂道を登り切ると眼前に飛び込んできたのは広大なブルーベリー農園でした。

そして今までの不安な思いが吹き飛び、思わず歓声がついて出ました。滋賀県で生まれ、滋賀県で育った私でしたが、こんな近くに素晴らしい農園があったとは本当にサプライズでした。

そしてそのサプライズはオーナーである岩田康子さんにお会いしてからも続きました。彼女が醸し出す雰囲気がこの農場、及びカフェレストランと一体となり不思議な安らぎを与えてくれるのです。そのあとレストランにて開会となった際に『女性委員長』という重責を拝命し、私にとってはサプライズの連続でした。

その後、待ち焦がれていた食事の内容は、無農薬・有機栽培の野菜を使用した安心・安全への気配りを感じさせるこだわりの食品を提供されました。それに加えてセンスのあるレシピの品々に付け加え視覚と味覚を堪能させてくれるには充分余り有るものでした。きっと彼女の顧客満足度の向上にかけける情熱がまさに顧客に感動を与え虜にすると共に心の充実を感じさせ、気力をも与えてくれるのです。

本当に幸せな時間を過ごさせて頂きました。そして本日のセミナーを通じて、女性であるが故に尚一層共鳴する感動の輪が大きく広がる事を心より願う次第です。最後にこの素敵なひと時を準備して頂いたスタッフの皆様我心より感謝の意を表します。本当に有難うございました。合唱

女性委員会 委員長 安藤 玲子

故夏原名誉会長の顧客満足に賭けた執念 ～平和創業者からの学び～

平成22年9月18日（土）彦根キャッスルホテル
（有）オフィスノキア代表取締役（株）平和堂同鳩会顧問
『賢人会』主宰 商業コンサルタント
講師：秋野 正誠氏



秋野氏は、38歳で、倒産を経験し、40歳の時に平和堂に勤められることになった。氏は、尊敬する故夏原名誉会長を通し、平和堂が、好きになり、そして滋賀県が、好きになり、彦根を終の棲家にと考えるほどで、その故夏原名誉会長の考え方、平和堂の顧客満足の精神をお話いただきました。

まず、平和堂は出店した店舗を自社の都合で閉店したことは一度もないとのこと。地域の、殊にお年寄りのお客様のことを考えると、たとえ赤字店舗であっても頑なに営業を続けているとのこと。

次に、商品には『見せ筋、売れ筋、死に筋』があり、一般の大型スーパーでは、売れ筋と呼ばれる商品だけを置き、合理化を追求するそうですが、平和堂の場合、たとえあまり売れなくても高級品も置いて、お客さまが価格、品質に納得して、欲しいものを選ぶように、見せ筋も必ず置いておられるとのこと。

他にも、『店はお客様の為にある。』を徹底する平和堂では、売り場を、買い場と呼びお客様の立場から買い場（売り場）の改善をされてます。

また、平和堂では、売上高のことを『御奉仕高』と呼ばれているそうです。売り上げとは、お客様への御奉仕の結果が、数字に表れるもので、赤字とは、御奉仕が、足り無いとのことだそうです。

秋野様のお話を伺い、故夏原名誉会長の熱い想いが脈々と息づいていることをあらためて実感し、いつも気持ちよく利用させていただいている平和堂さんを益々好きになりました。

彦根市倫理法人会 事務長 森田 真人

滋賀県倫理法人会通信

びわこ湖北倫理法人会 モーニングセミナー

平成22年9月22日6:30～7:30

テーマ 『安岡正篤先生の教え・人間の生き方を学ぶ』

STEP-21 専務理事 井上昌幸氏



びわこ湖北倫理法人会では、9月22日のモーニングセミナーにSTEP-21 専務理事の井上昌幸様をお迎えし講演いただきました。「安岡正篤先生の教え・人間の生き方を学ぶ」をテーマに御講演頂きました。講演は2回に分け、今回はその初回としてお話頂きました。井上様から非常にわかりやすく解説頂きました。

安岡正篤は、昭和41年に下記のような「一燈照隅行・万燈遍照行」を掲げました。「このままで行けば日本は自滅する外はない。我々はこれをどうすることも出来ないのか。我々が何とかする外無いのである。我々は日本を変えることができる。暗黒を嘆くより一燈を点けよう。先ず我々の周囲の闇を照らす一燈になろう。微かであっても一燈を照らそう。手のとどく限り、到る処に燈明を連ねよう。一人一燈になれば、万人万照である。日本は忽ち明るくなる。これが我々の一燈照隅行即ち万燈遍照行である。お互いに真剣にこの世直し行を励もうではないか。」

また日常生活の中で善い習慣を身につけるための指針を「大和的生活法」として述べられています。「道は近きに在り」とは名言である。人間は高遠な理論や煩雑な社会的交渉の前にあるいはその根本において、常にまずわれ自身、わが日常生活を注意せねばならぬ。環境と身体、精神と身体、日々の生活と身体の微妙な関連は思いも及ばぬものがあり、その大和を得ることができれば、人間のいざこざなどは、自然の雨・雪・風雪などと同じく問題ではない。むしろ人生の情景である。」

いずれも、今、私たちが取り組んでいる実践を安岡先生から推し進めて頂いた思いがしました。第2講も参加し、しっかりと学びたいと思います

びわこ湖北倫理法人会 幹事 山岡 朗

びわこ湖南倫理法人会 2ヶ月連続の100人モーニングセミナー開催

平成22年7月20日18:30～19:30

テーマ 『活力朝礼のススメ』

大阪府倫理法人会 朝礼委員長

学校法人泉新学園 学園長 松井直輝氏



朝から多数の参加者で、会場もいつも以上の熱気。

松井直輝氏は、「幼児教育で日本を変える」という大きなビジョンに向かい全国の幼稚園にも態度教育を広げるために指導に奔走。カリスマ園長だった松井氏のお母様が亡くなられた後、どんどん園児が減られた。思考錯誤いろいろ取り組まれた中から態度教育をスタートされ、園児の保護者から多大な支持をいただき園児も増加。

態度教育では「挨拶」「返事」「履物を揃える」「立腰」「食育」を通して心指導を実施。態度教育をするには先生が出来ることも必須。そこから職員教育に朝礼を導入。「10分間の時間の中で先生たちが明るく元気に、ハキハキ、キビキビ所懸命になれるような朝礼！」を目指し、5年かかって現在の朝礼に！

あらためて、10分間の活力朝礼の素晴らしさ、毎日継続することの大切さ、継続した時の大きな力を実感させていただきました。

当社も引き続き改善しながら活力朝礼を継続していきます。

今回、初参加いただいた幼稚園の園長にもご入会いただけ嬉しく思います。

ありがとうございます。

びわこ湖南倫理法人会 専任幹事 能登清文

滋賀県倫理法人会通信

会員企業訪問

株式会社アヤノ



堅田の駅前通りを南へ下がると、神戸北野の異人館通り界隈を思わせるような、オレンジイエローのお洒落な洋館が突然現れる。days hair 堅田店だ。お店は美容サロンとエステサロンを併営されている。オーナーの山田武彦氏は、数々のミュージシャンや有名人のヘアを手掛けられ世界的に活躍されており、この日も東京へ出張中だった。



days hair のスタッフと創業者の山田綾乃氏（中央）



8:25 開始の朝礼は、days hair のモットー唱和、クレド唱和から始まる。43 項目の「ハウスルール」のうちから抜粋した「サービス 3 つの約束」を唱和、「18 のベーシック」のうちの 1 つを唱和、発声練習、返事練習（倫理という「ハイ！」の練習）と続く。大半が 20 代のスタッフですが、意外にも！？テンポ良く進行されていた。全員が前向きに取り組んでおられるからこそである。その後、「職場の教養」は輪読ではなく最初の 1 文をリーダーが唱和し、それに続いて全員で唱和するというやり方だ。感心させられたのはその次の「今日の心掛け」と「お客様情報」だ。



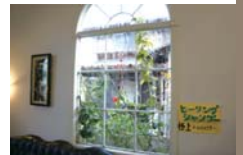
「今日の心掛け」は、前日の夕礼の際に出た反省点等を朝に再度徹底されている。「お客様情報」とは、顧客カルテに基づき、その日予約されている顧客の髪型や嗜好などの情報を全員で共有することだ。顧客がしっかり定着しているのが頷ける。

来店された日がお客様の誕生日なら、仕上がり後、出来栄を鏡で確認頂く際に、鏡自体におめでとうメッセージが書かれていて、スタッフ全員で「ハッピーバースデー」を歌うという演出も。また足の悪いお客様なら、スタッフ自ら駅まで車でお送りすることも。常に顧客を喜ばせるという発想で、仕事を楽しんでおられるからこそ成せる技だ。ただこうしたことをするためには、前日遅くまで準備に時間がかかるそう。



また、若いスタッフの活字離れを憂慮し、2 ヶ月に一度「D-1 グランプリ」を店終了後に開催。各自が選んで読んだ本の感想を、一人 5 分にまとめ全員が発表するのだ。上手く伝えるために結論から話すようになる等、仕事にも思わぬ効果があるそう。

この日応対して頂いたオーナーの姉・清美氏は言う。「うちは仕事を与えるのではなく、スタッフ各自が自分たちで考えて行動する、“自主活性型サロン”を目指しています！」この言葉で本日取材したことが腑に落ちた。今の悩みをお聴きすると、「皆若いから先走っちゃうんですよね」と、困っているのに嬉しそうな笑顔が印象的でした。



大津倫理法人会 専任幹事 濱名 和彦

<会社概要>

- 社名：株式会社アヤノ 代表取締役 山田武彦
- 本社所在地：大津市本堅田 5-13-17、TEL077-572-2019
- 事業内容：美容業全般・エステ・着付
- 店舗：堅田店（美容サロン&エステサロン・スイート）、西大津店（美容サロン・JR 大津京駅前、TEL077-521-1225）、アヤノアネックス本町店（本堅田 2-5-28）
- 従業員数：32 名
- 昨年創業 50 周年。倫理法人会には、まだ滋賀県にない頃の平成 4 年、京都で入会。